



<学力検査と作文>

令和5年1月6日(金)

受付 8時～8時20分

① 国語 8時45分～9時10分

② 社会 9時20分～9時45分

③ 理科 10時05分～10時30分

④ 算数 10時40分～11時05分

(途中休憩)

⑤ 作文 11時20分～11時50分

(課題が出題され、300字程度の作文を書く)

*終了後、面接時間を発表



<学力検査の範囲>

国 語 (教育出版)	6年生の「下」の教科書 「漢字の広場④音を表す部分」「五年生で学んだ漢字④」まで
社 会 (教育出版)	6年生の教科書 「2日本の歴史 9近代国家を目指して」まで
理 科	(教育出版:函館) 6年生の教科書 「月の見え方と太陽」まで
	(東京書籍:渡島) 6年生の教科書 「てこのはたらき」まで
算 数 (東京書籍)	6年生の教科書 「比例の関係をくわしく調べよう」まで



< 4 教科の傾向と対策 >

国語

話す力、聞く力、読む力、書く力、そして、漢字や言葉の語彙に関する知識理解という5つの領域の力がしっかりと身についているかどうかを問う問題を、幅広く、バランス良く出題します。例年大問は2題です。1題は、長文です。内容は、文学的な文章であつたり説明的な文章であつたりします。もう1題は、具体的な学習活動の場面を設定した問題を出題しています。国語の力をどのように発揮するのかという活用力を問う問題を出題する予定です。国語のテスト対策としては、2点です。小学校での日頃の国語の授業をしっかりと受けること。もう一つは、筆記試験になるためにも、多くの国語の問題を解いてくることです。

社会

例年、3～5年生で学習する地理的な内容、6年生で学習する歴史的な内容と政治的な内容をバランスよく出題しています。これらの学習に関しては、教科書に載っている語句の意味を理解することや、グラフや表、図、写真などから情報を読み取れるようにすることが大切です。単に語句を「知っている」という段階で終わるのではなく、その関連を説明したり、自分自身の考えを論述できるような学習を行ってきてほしいです。

< 4 教科の傾向と対策 >

理科

各学年で学習した内容を出題しています。これまでに行った観察や実験の方法、その結果を振り返るようにしてください。また、実験結果として示されているグラフもその意味をもう一度確認してください。実験以外では、教科書に示されている重要語句を振り返ってみましょう。語句の意味が理解できることによって、問題文の意味も読み取りやすくなります。さらに、教科書に示されている図表を見直しておきましょう。入試対策としては、1冊の問題集を繰り返すこと。できなかつた問題を1つずつ克服しておくことが大切です。

算数

例年、25分間で10問出題し、教科書に掲載されている問題の難易度を基本としています。毎年計算問題を2問出題しています。分数や少数を含む式の計算を出題しますので、素早く正確に計算する技能を身に付けてください。また、答えを求める問題の他に、考え方を聞く問題も出題します。これから勉強方法としては、問題を解いた後、自分の出した答えが本当に当たっているのかをもう一度考え直したり、他の考えはないのかと、違う方法で自分の出した答えを確かめてみたりする勉強が大切です。



<過去の作文の主題>

令和4年度 「未来について」

令和3年度 「私の興味や関心」

令和2年度 「社会の課題」



<面接>

1 5分程度の個人面接を行います。

自己アピールの時間(2分間)

自分の良さ

本校志望への強い動機

自分の長所をスピーチ

自分の特技等のパフォーマンス

など内容は自由です。

必要な物があれば持参してください。



<面接>

令和5年1月7日（土）

受付 9時30分～ 9時45分
12時30分～12時45分

面接 10時00分～12時00分【前半】
13時00分～15時00分【後半】
*各自面接終了後下校

- *面接の時間については1日目の学力検査時にお知らせします。
- *面接の時間により受付時間が異なります。
- *面接時間により待ち時間があります。読書用の本など持参可能です。



<感染症の防止対策、再受検>

受検する際のお願い

- 検査日の3日前から、体温測定を行い、健康観察票に記録をお願いします。
- 検査当日の受付開始時刻を受検番号ごとに決めております。決められた時刻に合わせて登校いただけるよう御協力をお願いします。



<感染症の防止対策、再受検>

感染症に関する再受検について

学力検査当日、新型コロナ感染症、流行性感冒（インフルエンザ）に罹患し、受検ができない場合に限り、再受検を実施します。

* 罹患した場合、附属函館中学校まで御連絡ください。